

## 平成 24 年度事業報告

### 1. 全体総括

利用者サービスの向上と効率的事業運営を目指しその取り組みに努めた。

利用者数や就労支援事業の内容・収入が安定し、年間を通じ順調な運営を行うことができた。また、障害福祉サービス費等の財務状況もほぼ安定し、ソフト面だけでなく、ハード面についてもより良いサービス提供ができるように努めた。

4 月より東野の向かいの家をメンバーの増加、多様な作業の提供に伴い休憩・作業スペースが手狭になり、その確保を目的に賃借し、1F を事務所、2F を作業スペースとして使用。また、メンバーの個人情報や貴重品の管理等も整理し、メンバー・スタッフ共により活動しやすくするための環境整備を行った。

地域貢献・交流を目的に地域福祉の向上に資する活動について積極的に協力、協働し、地域から必要とされる活動を行えるように努めた。

医療機関や行政、職業センター等の関係機関との情報共有を行い、積極的な体験者・利用者の受け入れ、メンバーの就労支援を行った。デイケア等との並行利用の方や週 1、2 回の利用の方等、幅広い利用者の受け入れを行った。また、昨年度に続き発達障害等新たな分野の方の利用希望が増えており、受け入れにあたり保健センターや他機関との連携や職員の資質向上、配置等の課題も引き続きある。

サロン利用も含め連携しながら、働くことだけではなく居場所としての機能を果たせるよう努めた。

昨年度からの引き続きの課題である、サロン 2F スペースをフリースペース（山科区地域福祉推進委員会事業）として検討したが、具体的な進展は見られなかった。活用の前提としてオーブのみの利用ではなく、地域のニーズも視野に入れながら検討していく必要がある。

3 月 1 日より計画相談支援事業の指定を受けた。

25 年 4 月 1 日より「総合支援法」が施行され、対応を検討するため、NW 等に参加し情報収集を行った。運営上の大きな変更点は見られなかった。

### ○運営

- ①目標工賃達成加算や福祉専門職員配置等加算、目標工賃達成指導員加算の体制の届出を行った。
- ②5 月に非常勤職員を 1 名採用。1 月に 1 名退職。調理スタッフが 1 月に退職し、引き続きシルバー人材センターより紹介を受ける。今後相談支援事業やサロン等の職員体制を踏まえ、計画的な人事を行う。
- ③毎週木曜日サロン職員も含めたスタッフミーティングを通常ミーティングとは別に実施し、個別支援計画を作成するためのカンファレンスやケース検討・研修の振り返り等やサロンを含めた各事業所間の情報共有を行い、効率的な事業運営や職員の資質の向上に努めた。
- ④京都ノートルダム女子大学の佐藤先生に隔月来て頂き、通常ミーティング終了後、ケース検討等のスタッフの勉強会を行った。
- ⑤以下の評議員会・理事会開催した。

## 評議員会

- 第1回評議員会 平成24年5月13日(日)
  - 平成23年度事業報告案
  - 平成23年度決算案
- 第2回評議員会 平成24年10月13日(土)
  - 理事・監事の選任
  - 相談支援事業の指定について
- 第3回評議員会 平成25年3月16日(土)
  - 平成24年度事業計画案
  - 平成24年度予算案
  - 定款の変更
  - 役員の交代について

## 理事会

- 第1回理事会 平成24年5月15日(日)
  - 平成23年度事業報告案
  - 平成23年度決算案
  - 家賃の改定について
- 第2回理事会 平成24年10月13日(土)
  - 評議員の選任
- 第3回理事会 平成24年10月13日(土)
  - 理事長の選出
  - 理事長職務代理者の指名
  - 相談支援事業の指定について
- 第4回理事会 平成25年3月16日(土)
  - 平成25年度事業計画案
  - 平成25年度予算案
  - 定款の変更
  - 役員の交代について
  - 旅費規程の作成

## ○地域貢献・地域交流

- ①例年通りランチケアを通じ大宅学区民生委員、自主製品作りを通じたわの会との交流を行った。また、ボランティアの受け入れについても積極的に行い、山科こころの健康を考える会の「こころの健康を考えるサポートボランティア入門講座」より4名、精神保健福祉ボランティア連絡協議会の「精神保健福祉ボランティア養成講座」より5名の実習生、花園大学より1名、京都ノートルダム女子大学より2名の学生ボランティアの受け入れを行った。そのうち2名が定期的なボランティア活動につながった。
- ②地域貢献を目的にボランティア清掃を東野、小山ともに月1回行った。1月には京都市社会福祉大会にて山科区社会福祉協議会の推薦を受け、ボランティア活動における地域貢献として京都市長より表彰された。

- ③サロン事業について、敬老週間やぶらりサロン、サンクスクリスマス等地域住民の方にも広く利用してもらえる活動を企画し、本来のサロンの目的である当事者と地域との交流を積極的に行った。
- ④地域ネットワーク：山科こころの健康を考える会、京都市東部障害者自立支援協議会・触法障害者専門部会、ほっとはあとセンター市内ブロック世話人、京都精神保健福祉施設協議会・広報部会、山科区第3期域福祉活動計画策定委員会、社会就労センター協議会（セルフ事業推進委員）に参加した。
- ⑤精神保健福祉士の実習生受け入れた。大阪保健福祉専門学校より合計2名。

10月 1日 ～ 10月19日 1名

2月18日 ～ 3月 8日 1名（通信教育科）

#### ○施設内

- ①メンバー間交流や他施設との交流、余暇活動の啓発等を目的に月に1回程度レクリエーション（一泊旅行、忘年会、工場見学等）を行った。サロンとの共催行事（ぶらりサロン、絵画教室、写生会、歌の教室、京家連文化の集い、サンクスクリスマス）を行った。また、写生会や絵画教室で描いた作品をるまん絵画展としてサロンで展示を行った。
- ②山科区の就労継続支援B型施設からしだねワークスと合同で9/28、29に食、音、喋をテーマにからしだね館にて「秋の収穫祭」行った。食では野菜販売を中心にオリーブの野菜のBBQ、音ではるまん音楽隊として合唱、喋ではメンバーが数名参加したメンヘルトークライブを行った。
- ③オリーブだよりを年4回発行し、関係機関へ送付した。
- ④オリーブの部屋利用者2名。メンバー1名、医療機関のプログラムの一環で2日間、一人暮らしへ向け、調理をすることを目的に利用する。外部利用1名、退院促進事業の一環で利用する。
- ⑤月に1回約束事項の確認や情報提供、メンバーからの要望を聞くことを目的にメンバーミーティングを行った。年度途中より、メンバーに司会をしてもらい、より主体的に積極的に意見交換が出来るように努めた。
- ⑥給食の内容を変更、以前はその日の朝にメニューを決め、買い物に出ていたが、1月より事前に献立を施設内に掲示をし、1週間前に注文をする形に変更。食材についてもスマイルに発注し、配達してもらう形態にした。担当のスタッフが変わり、東野では月・木・金の週3回実施する。また、小山でもメンバーの体調管理、栄養管理を目的に給食を実施。月・木とスーパースマイルさんに調理をお願いし、水曜日のカレー作りについては従来通り実施した。

●登録者数 53名（平成25年3月31日時点）

平均年齢 46.2歳

男性 33名（62%）、女性 20名（38%）

●登録 12名

医療機関より紹介	5名
支援センターより紹介	3名
保健センターより紹介	2名
サロンより	2名

●退所 0名

●就労 0名

●平均工賃

23年度	人数	金額	平均		24年度	人数	金額	平均
4月	31	284,760	9,186		4月	31	317,140	10,230
5月	31	260,600	8,406		5月	31	313,615	10,117
6月	33	312,415	9,467		6月	29	301,165	10,385
7月	34	311,640	9,166		7月	28	281,965	10,070
8月	31	307,970	9,935		8月	28	313,480	11,196
夏期	34	258,800	7,612		夏期	34	304,000	8,941
9月	32	259,025	8,095		9月	29	276,885	9,548
10月	31	289,080	9,325		10月	32	282,615	9,029
11月	35	328,235	9,378		11月	32	313,030	9,782
12月	31	301,025	9,710		12月	30	263,215	8,774
冬期	36	606,700	16,853		冬期	35	591,300	16,894
1月	32	299,045	9,345		1月	30	283,630	9,454
2月	32	302,280	9,446		2月	32	284,560	8,893
3月	30	319,425	10,648		3月	31	293,010	9,452
合計	453	4,441,000	9,804		合計	432	4,425,910	10,243

工賃向上計画報告 人数計 376人 平均工賃 ¥11,766 (@¥324)

●年間開所日数 253日 (252日)

●年間総作業時間 13,644時間 (13,310時間)

●1人あたり

平均作業時間 年間 317時間 (350.3時間) 月 31.1時間 (31.9時間)

平均通所日 年間 114日 (124日) 月 12.2日 (12.0日)

●平均通所者数 (別紙参照)

1日平均利用者数 22.2名 (20.2名)

月平均作業時間 1061時間 (993.5時間)

月平均開所日数 20.0日 (20.2日)

## 2. 就労支援事業

工賃向上計画を策定し、作業場の拡張・整理、商品の見直し等を行った。売上報告等を定期的に行い、各部門の更なる充実に努めた。また、メンバーがより主体的に取り組めるように、新製品の開発やメンバーの作業確保にも工夫を行った。

例年通り福祉フェスタややったね秋まつり、洛和メディカルフェスティバル等の出店に積極的に参加し、製品の販売、交流を行った。

東野、小山共にボランティアの方々に積極的に協力して頂き、売上だけではなく、作業を通じた交流を行い、定期的な活動の場として利用して頂いた。

	平成 23 年度		平成 24 年度	
	金額 (円)	構成比	金額 (円)	構成比
年間授産収入	6,895,662	100.0%	7,102,617	100.0%
内訳				
(1)野菜販売	4,767,944	69.1%	4,745,131	66.8%
(2)自主製品	308,620	4.4%	484,303	6.8%
(3)さをり織り	237,128	3.4%	283,078	4.0%
(4)嶋津	435,556	6.3%	460,404	6.5%
(5)大曜	38,835	0.5%	56,285	0.8%
(6)春日丘	748,000	10.8%	600,000	8.4%
(7)サロン	83,550	1.2%	62,400	0.9%
(8)その他	276,029	4.0%	411,016	5.8%

※その他 ヤマト運輸手数料、フェルトボール、オリーブの部屋利用料他

### (1) 野菜販売 年間売り上げ 4,745,131円

小計	月	東野	小山	出展	スマイル	芋掘り		竹谷	ほっとはあと	よつ葉	やましな	からしだね	その他	
227,865	4月	55,840	2,790	1,800	43,195	0	0	0	9,090	105,755	6,845	0	2,550	
316,905	5月	90,200	10,480	12,700	61,720	0	0	6,000	10,130	82,755	22,560	1,000	19,360	
426,070	6月	122,490	15,080	30,700	87,965	0	0	6,000	13,520	108,195	20,465	5,950	15,705	
659,291	7月	228,096	34,800	0	217,050	0	0	11,000	10,250	83,015	11,955	33,145	30,180	
623,735	8月	190,896	34,500	15,300	172,309	0	0	21,300	12,400	49,935	95,925	16,630	14,740	
419,980	9月	76,990	9,350	81,150	86,415	0	0	10,800	10,800	37,265	60,840	19,500	27,970	
436,395	10月	106,790	28,140	71,320	71,835	21,800	0	3,800	9,000	52,495	31,105	5,510	35,000	
356,985	11月	113,990	17,010	68,700	35,285	7,000	0	7,500	8,600	41,335	29,055	15,070	13,440	
272,560	12月	86,660	9,150	12,910	28,570	0	0	8,000	14,150	82,095	22,475	4,150	6,400	
283,840	1月	98,840	12,680	16,420	47,065	0	0	8,000	6,350	46,650	12,800	5,650	29,585	
287,160	2月	97,530	8,170	0	67,270	0	0	4,000	9,550	44,505	25,325	0	30,810	
434,345	3月	109,440	20,100	0	74,470	0	0	3,000	0	173,450	14,175	0	39,710	
4,745,131	小計	1,377,362	202,050	311,000	993,149	28,600	0	87,300	113,640	907,450	353,525	105,605	265,450	
100.0%	ウエイト	29.0%	4.3%	6.6%	20.9%	0.6%	0.0%	1.8%	2.4%	19.1%	7.5%	2.2%	5.6%	
部門別		東野、小山、出展、芋掘り合計					2,912,161		協力者合計					1,832,970
							61.4%							38.6%

24年度、畑での事業は例年同様、生野菜、加工品ともに年間を通して作業提供及び販売が出来るようにし、作業面（就労支援）と売り上げ面（利用者の工賃維持）との両立を図りながら展開した。主な野菜の販売先としては東野、スマイル（スーパー）、あずき（居酒屋）、京都市やましな学園（福祉施設）、浅川亭（カフェ・配食をしている福祉施設）、からしだね（カフェ・配食をしている福祉施設）、よつ葉ホームデリバリー京滋（関西よつば連絡会京滋エリア配送会社）池田屋（漬物屋）、里地クリニック、山科社会福祉協議会、山科保健センター、出展販売などがあり、

加工品としては、ほっとはあとセンター、やまゆり生活共同組合（神奈川県にある生協）、株式会社ひこばえ（関西よつ葉連絡会）、出展販売、個人からの注文、などで販売・納品を行なった。

上記を見ても分かるように24年度は23年度よりさらに販路が拡大し東野中心であった販売は小山からの配達や配送による納品へとシフトしつつある。また納品先が増えることで作業としても充実し、かつメンバーへの負担も比較的少ない形での販路拡大、作業提供ができたことは24年度の収穫であった。

しかしながら販路拡大をしたものの、それに伴う作付ができなかったこと、並びに例年以上に厳しい寒さの冬季であったことで冬場の野菜の売り上げが伸び悩んだことが大きく影響し、売り上げ目標の500万円には届かないという結果となった。

全体としては23年度の反省点を踏まえ作業・就労環境の整備をしながら事業を展開した。その結果、課題でもあった大量注文によるメンバー・ボランティアさんへの負担は、納品時期や生産予定を分散することで軽減することができた。しかし23年度に畑が広がって以来ボランティアさんの作業量が減らないことも課題としてあげられるため、よりメンバーでできる作業を考案していかなければならないという課題はそのまま残るかたちとなった。25年度はその点を踏まえ検討し、畑の事業をどのように運営するか整理していくことが課題となる。

### 平成24年度収支決算書

オーリーブ農園生産会

平成24年4月1日～平成25年3月31日

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	241,032	肥料・農薬	133,556
卸売代金	1,105,193	種苗	240,910
		備品	244,591
		消耗品	126,163
		燃料代	35,977
		雑費	66,165
		次年度繰越金	490,863
合計	1,346,225	合計	1,346,225

会計 関ヒロテック 森 兼 弘 

(2) 自主製品(縫製品) 年間売り上げ 484,303円  
材料費 40,134円

出展について、出展回数は17回（前年15回）参加できた。売り上げは約17万円、約10万円が福祉フェスタでの売り上げになっている。その他の出展も積極的に参加することができた。エコバッグ テーブルランナー のれんや高額ポーチ等多彩な製品を準備できた。

ほっとはあとについては、5月に名刺入れ150枚の受注があり売り上げを伸ばした。また、新商品としてのれんを1枚1500円で納めよく売れた。観光客の増える時に納品数を増やせるよう製作調整をすることができた。

オーリーブ内としては、認知症予防講座で使用されるシーツボール入れを定期的に納品できた。他サロンのお客さんやメンバー個人の注文と個別の縫製にも応えられた。

辰美屋については名刺入れやティッシュケースの納品を増やし毎月少しずつではあるが売っていた。しかし不景気のため9月で閉店された。祇園で着付け専用のお店として再開されたが、小物は置かないということで取引は終了した。

全体として、売り上げは昨年比で1.5倍になった。ボランティアさんの来られる回数が増え暖簾やシーツボール入れ、ティッシュケースがたくさん出来上がり出展、納品等売り上げが伸びた。ミシン作業をするメンバーが少ないなか暖簾、シーツボール入れにもメンバーが関わっている。仕上げまでを覚えてもらうには時間がかかるが繰り返し作りマスターしていただきたい。ポーチは刺し子というより刺繍になってきている、メンバー同士のアドバイスで質の良い物になっている。丁寧に作る分時間がかかり出来上がる数は増えていないが、自分の作ったものが売れているという喜びがやりにぎに繋がっている。着物ほどもは主に縫い物が苦手なメンバーや体調が安定していないメンバーが行っていて最近増えている。また、新しい製品の試作、既存製品の見直し販売を行った。値段設定や用途等課題はあるが引き続き取り組んでいきたい。また、昨年4月から新しい作業場で作業を始めた。広さとしては以前と変わらないが、ミシンの場所を固定することで使い分けがスムーズになった。しかし、シーツボール入れを扱うには限界があり今後作業を続けるために工夫が必要になっている。

23年度 縫製品売上					24年度 縫製品売上						
	出展	ほっとはあと	辰美屋	オリーブ	合計		出展	ほっとはあと	辰美屋	オリーブ	合計
4月	6,600	3,835		3,800	14,235	4月	31,800	5,628		22,350	59,778
5月		5,654		6,600	12,254	5月	1,050	3,524	1,400	1,600	7,574
6月	26,400	6,469		10,900	43,769	6月	27,900	59,331		2,950	90,181
7月		2,882			2,882	7月		13,010		23,000	36,010
8月	4,200	3,182		11,300	18,682	8月	6,300	3,920			10,220
9月		7,693		9,000	16,693	9月	4,850	8,970	2,700	15,700	32,220
小計	37,200	29,515	0	41,600	108,315	小計	71,900	94,383	4,100	65,600	235,983
10月	28,450	4,238		4,400	37,088	10月	13,600	17,390		15,850	46,840
11月	12,950	7,461		1,350	21,761	11月	39,850	23,220		2,000	65,070
12月		8,488		10,000	18,488	12月	4,050	8,530		15,800	28,380
1月	15,600	5,943		18,200	39,743	1月	11,300	8,970		16,700	36,970
2月		966	1,400	900	3,266	2月		7,670		21,200	28,870
3月	6,350	10,811		62,800	79,961	3月	31,500	10,190		500	42,190
合計	100,550	67,420	1,400	139,250	308,620	合計	172,200	170,353	4,100	137,650	484,303
							大量注文	42,525		123,000(9枚)	

製品別表								
	ほっと	出展	その他	23年度計	ほっと	出展	その他	24年度計
縦型	12	12	2	26	22	29	5	56
切り替え	8	17	0	25				
マジック	8	12	2	22				
ショルダー	0	0	0	0				
エプロン	3	0	0	3	2			2
ブチピン	7	3	0	10	2	13		15
コインケース	25	58	111	194	18	90	13	121
名刺入れ	23	36	19	78	14	85	5	104
コースターセット	2	0		2	1			1
コースター	21	72	0	93	17	51	23	91
藍ポーチ				0				0
名刺入れ				0	150			150
風呂敷縫い				0				0
携帯バッグ	12	2	1	15	17	16		33
金欄コースター		15		15		20		20
信玄袋			4	4				0
ティッシュケース	2	20	4	26	28	64	4	96
				のれん	36	11		47
				テーブル		8		8
				シーツボール			9	9

(3) さをり織り 年間売り上げ 283,078円

作業総時間 1,072時間

平均人数 1.7人

フェリシモ	売上	69,454	オリジナル	売上	213,624
	時間	445		時間	627
	平均人数	1.4		平均人数	2

フェリシモ	仕上がり	売上	時間	フェリシモ	仕上がり	売上	時間
4月			50	10月	965	10,615	54
5月	420		54	11月	496		33
6月	490		24	12月	496		28
7月	490		25	1月	510		36
8月	966	26,026	39	2月	483	21,835	38
9月			47	3月	998	10,978	20
合計	2,366	26,026	237	合計	3,948	43,428	208
				総合計	6,314	69,454	445



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	外部	部数	売上	坪単価
機着ロング	6	7	7	3	4	1	3	3	6	2				42		
売上	6	4	7	0	1	1	5	12	3	5			8	5	57	4,000
ぱんち	4		1	4	4	2		6	5	4				8	24	
	6		3			3	4	11	1			1	4	8	41	23,100
クッションカバー		3			1	2								6		
								1		1			1	3	7,400	
ショール								4	2					8		
														4	27,200	
手縫りボータ		1	1		1	1			2					6		
	1					2	1							4	2,000	
ボータロング		1	2	3				1	1	1				9		
	1		2	1		1				1				6	7,500	
マチ付ボータ									5	2	3		1	11		
			1			1	1	4	2	1			3	13	9,100	
敬老ショール					8									8		
						8								8	54,400	
手縫りワタ			1											1		
						1								1	400	
手縫りワタ			9			1								10		
			6			2				1				10	2,100	
マフラー									5	1				6		
									4	1				5	12,000	
トートバック	1										1			3		
			1										1	2	6,000	
ミニバックミニバックミニ							1	2	1					4		
								2						2	4,300	
機着ロング	1							1		2				3		
								1		1				2	1,600	
手縫りベスト	1													0		
								1						1	4,500	
ぐらにバック									1					1		
														0		
デジカメケース											4			4		
												1		1	1,000	
ショルダー										1		2		3		
														0		
手縫りボータ巾	1												1	1		
													1	1	1,000	
グローブ								1						1		
								1						1		
ハンズル												10		10		
												4		4	1,200	
ペンケース			1					1						1		
			1											1	600	
ちよこつバック								1						1		
								1						1	1,000	
その他 手縫りボータ小銭							1							1		
								1						1	500	
合計	10,100	2,800	14,700	1,300	800	60,900	7,500	61,300	14,700	8,700	800	19,700			213,624	
作業時間	39	58	35	74	87	59	56	56	49	37	42	37			627	
平均人数	2						2	2	2	1	2	2			2	

24年度夏、織り機を一機増やし、オリジナル生地、特にフェリシモ生地制作を積極的にやることを目標としていたが、月に10メートルの目標が達成できなかった。特に春・夏は京都府の敬老ショールの作業で手を取り、フェリシモ、オリジナルともども作業がはかどらなかった。敬老ショールのウール糸を扱うのが難しく、メンバーが担える個所を増やすことができなかった。またフェリシモの仕事を担当していたメンバーが調子を崩し、織り機に空きが出ることも多かった。前年度ほぼ行えていなかったオリジナルの生地作りは在庫も少なかったこともあり前年度よりも積極的に織れた。そのためオリジナル商品に多く取りかかることができ、売上も伸びた。また新しい商品開発もボランティアさんを中心に行ってきた。24年度の成果としては品数が増えたことが大きく、そのため売上も伸びたのだろう。高額なオリジナル商品づくりはボランティアさん中心で、メンバーやスタッフが従事する商品を増やすことは難しかった。また売れ筋のシーズンものの準備がスケジュール通り進まなかった。新年度に引き続き課題である。織物メンバーを増やせず、3機をフルに稼働できないこともあった。新しい織りのメンバーを増やすこと、各々の織りの技術を高めること、縫製のメンバーを増やすことなど、沢山の課題が残った。

(4) 嶋津 年間売り上げ 460,404円

作業総時間 3,207時間

平均人数 12人

(5) 大曜 年間売り上げ 56,285円

作業総時間 1,021時間

平均人数 8人

嶋津	工賃	時間	嶋津	工賃	時間
4月	44,789	303	10月	32,861	309
5月	37,662	290	11月	42,202	299
6月	51,459	248	12月	42,006	232
7月	33,679	290	1月	18,037	212
8月	36,402	278	2月	46,801	266
9月	37,544	257	3月	36,962	225
合計	241,535	1,665	合計	218,869	1,542
			総合計	460,404	3,207

大曜	納品	売上	時間	大曜	納品	売上	時間
4月	425	3,273	60	10月	400	3,280	83
5月			37	11月	625	5,125	75
6月	975	7,508	87	12月	807	5,852	93
7月	1,021	7,862	69	1月	950	4,750	85
8月	525	4,305	93	2月	1,075	5,375	119
9月	450	3,690	73	3月	1,053	5,265	151
合計	3,396	26,638	417	合計	4,910	29,647	605
				総合計		56,285	1,021

ひもとおしは1日約1200枚を週2回行い、安定した作業量であった。季節や連休の影響により、2万円を切る売り上げもあったが、平均収入は3万8千円で前年度の平均3万6千円とあまり変わらなかった。

袋折りは納期の厳しい商品を受けることにもトライした。週一回の作業量としては順調な作業量・売上であった。今年度は各自が自分のできる工程が明確になり分業化が進んだ。新しいメンバーに指導できるメンバーもできたり、各々の工夫を教えあう光景も見られた。

(6) 春日丘 年間売り上げ 600,000円  
清掃 300,000円  
ベッド 300,000円

週3回 月、水、金

清掃 10時から12時

ベッドメイク 13時30分から15時30分

従事メンバー 清掃 3名 ベッドメイク 4名

一年間変わらないメンバーでの作業になった。体調の悪いときはメンバー間で交代を行いスムーズな作業ができた。しかし、新しいメンバーの育成は出来なかった。理由として体調の安定しているメンバーが少ない、シフト制への緊張、作業内容が難しい等の理由が考えられる。時間、体調の自己管理能力やステップアップの目安、体力維持のために作業が継続していけるよう派遣メンバーの育成を目指したい。

(7) サロン 年間売り上げ 62,400円

月・水・木・金サロン営業日に12:45~15:15までの2,5時間の作業。4名のメンバーがシフトを組み、作業内容は接客、記帳、売り上げ計算等。臨時で清掃や飾り付けの作業も行う。新規に従事するメンバーはいたが体調等でなかなか安定せず、後半は実質1名のみメンバーの従事になってしまった。